

ドライブレコーダー機能付

# 10.88インチ デジタルルームミラー 【取付説明書】

MDR-G009A2 / MDR-G009B2

---

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。  
この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。  
なお、お読みになった後も大切に保管してください。



**MAXWIN**

## 目次

|                  |    |
|------------------|----|
| ■取付について .....    | 1  |
| ■安全上のご注意 .....   | 2  |
| ■付属品 .....       | 5  |
| ■作業の進め方 .....    | 5  |
| ■本体の動作確認 .....   | 6  |
| ■本体の取付 .....     | 6  |
| ■配線イメージ .....    | 8  |
| ■配線方法 .....      | 9  |
| ■リアカメラの設置例 ..... | 10 |
| ■取付時のご注意 .....   | 11 |

## 取付について

### ■お客様へのお願い

- 取り付けおよび接続前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
- 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお勧めします。
- ご使用前に、「取付説明書」をよくお読みの上、お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
- 定期的に取り付け状態を点検してください。

### ■作業の前に

- 異常発生時やお問い合わせはまず、購入された販売店、またはサポートにご相談ください。  
(サポート:support@maxwin.jp)  
お客様による修理/分解は、絶対おやめください。
- 取り付ける前に構成部品をご確認ください。
- 取り付けには、内張り外し道具、養生テープ、布、ドライバー(プラス)、ニッパー、ベンチ、カッターナイフ、結束バンド、通線ワイヤーが必要です。
- ねじやボルト、ナットの取り付けには、寸法の合う工具をお使いください。


## 安全上のご注意(必ずお守りください)


説明書に記載されている注意事項を守っていただけないことによって生じる不具合に対しては責任を負いかねますのでご注意ください。







正しく取り扱わなかった場合や、常識を超えた使い方をされた場合などは、保証適用外となりますので安全に正しくお使いください。

■守っていただきたい内容を、次の図記号で説明しています。










 **禁止** してはいけない  
内容です。

 **実行** しなければならない  
内容です。

 **警告** 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重症を負う危険な状態が生じることが想定される内容を示します。

-  **本機はDC12/24Vマイナスアース専用です**  
12V普通車と大型トラックや冷却地仕様のディーゼル車などの24V車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や事故の原因となります。
-  **取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス端子をはずしてください**  
プラスとマイナス経路のショートによる感電や怪我の原因となります。
-  **車体に穴をあけて取り付ける場合は、注意して作業を行ってください**  
車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。火災の原因となります。
-  **ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用してください**  
破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。
-  **車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。**  
保安部品を使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。
-  **画面が出ない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください**  
そのまま使用すると、事故、火災、感電の原因となります。

## 安全上のご注意(必ずお守りください)

-  **車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください**  
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
-  **エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしないでください**  
車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバック動作を妨げる場所に取り付け・配線すると誤作動を起こしたり、交通事故の際に、エアバックシステムが正常に動作しないため、怪我の原因となります。
-  **電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対止めてください**  
電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
-  **本機を分解したり、改造しないでください**  
事故、火災、感電の原因となります。
-  **ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用してください**  
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
-  **万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変なおいがるなどの異常が起きた場合は、直ちに使用中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください**  
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
-  **接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁してください**  
ショートにより、火災、感電の原因となります。
-  **コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください**  
テアリングシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。
-  **付属のシガーアダプターは車のシガーソケットに直接接続してください**  
増設シガーソケットに接続する場合は、シガーソケットの容量オーバーにならないようご注意ください。容量がオーバーすると、発火や故障の原因となります。

## 安全上のご注意(必ずお守りください)



**注意**

取扱いを誤った場合に、使用者が軽症を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定される内容を示します。



**本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です**

安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。



**しっかりと固定できないところや振動の多いところやリアウィンドウに張り巡らされた熱線への取り付けは避けてください**

本機が外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。



**湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください**

本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。



**コードが金属部に触れないように配線してください**

金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。



**コード類を決して途中で切断しないでください**

コード類には、ヒューズなどが付いている場合があるので、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

## 付属品

|  |   |   |
|--|---|---|
| <p>本体</p>        | <p>リアカメラ</p>  <p>または</p>  <p>車外設置用リアカメラ<br/>MDR-G009A2</p> <p>車内設置用リアカメラ<br/>MDR-G009B2</p> |   |
| <p>シガーアダプター</p>  | <p>リアカメラ接続ケーブル</p>   | <p>取付ゴム</p>  |

- 本書で使用している写真は、実際の製品と異なる場合があります。
- 本機の外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

## 作業の進め方

1. 同梱物を確認する(→付属品)
2. 動作確認を行う(→本体の操作確認)
3. ミラー本体をセットアップする(→取付方法)
4. ミラー本体を車両に取り付ける(→取付方法)
5. リアカメラを車両に取り付ける(→カメラの設置)
6. シガーアダプターを接続して電源を入れる
7. カメラ角度を微調整する(→カメラの設置)

## 本体の動作確認

本取付前、製品が正しく動作するかを確認ください。

1. 本体にシガーアダプター、リアカメラを接続する。
2. シガーアダプターをシガーソケットに接続する。
3. microSDカードを装着する。※1、※2
4. 本体を動作確認する(リアカメラ、録画)※3
5. 電源OFFする。シガーアダプターを外し、本取付を行う。

※1.microSDはClass10以上、8~128GBまでのカードをご利用ください。

※2.SDカードは本体からフォーマットを行ってください。

※3.録画中は設定操作できません。録画停止してから設定を行ってください。

## 本体の取付

本体を取り付ける前に仮配線して動作確認してください。

車両の内装、ピラーの外し方は各自動車メーカーにご相談ください。

### 1 本体裏面



### 2 取付ゴムを取り付け固定具の上側に引っ掛けます。



※写真は汎用品です



## 本体の取付

- 3 純正ミラーを挟み込んで、取付ゴムを取り付け固定具の下側に引っ掛けます。

※取り付けの際、本体をしっかりと支えながら取り付けてください。



- 4 もう一方の取り付け固定具にも取付ゴムを設置し、本体の位置を調整します。  
※取り付けの際、本体をしっかりと支えながら取り付けてください。



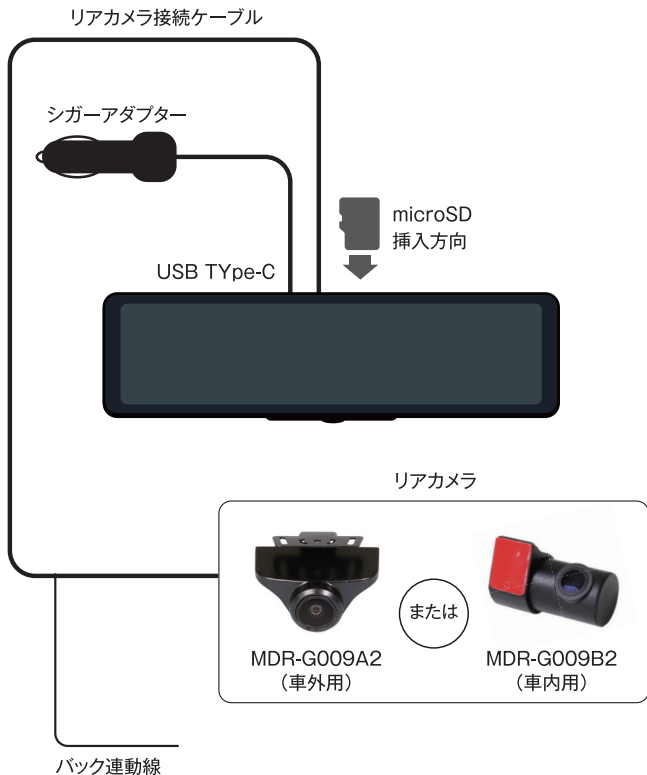
※写真は汎用品です

- 5 レンズ部分は左右にスライドできます。ミラーの大きさによって調整できます。画面を見ながらレンズの向きを調整します。



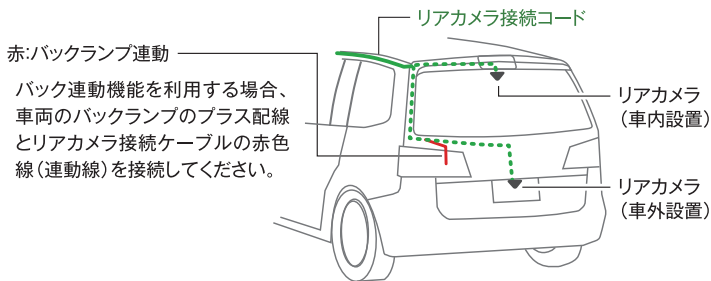
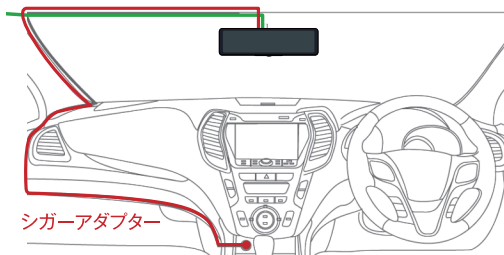
- 6 本体が確実に装着されていることを確認のうえ、使用してください。

## 配線イメージ



## 配線方法

- 1 天井裏やピラー内部を這わせてケーブルを通します。  
フロントカメラはフロントガラスに設置します。  
シガーアダプターはシガーソケットに接続します。
- 2 同様にリアカメラ接続ケーブルをピラー内部を這わせて後部に通り、リアカメラに接続します。



※バック連動線は適度な長さでカットしての使用も可能です。

※24V車の場合は連動線先にDC・DC (24V→12V) コンバーターをご使用ください。

※バックドアやトランクをゆっくり開閉して配線が挟まれていないことを確認し、配線を行なってください。リアカメラ及びケーブルに損傷ができるとカメラ内部やケーブルに水が入り破損の原因となることがあります。

## リアカメラの設置例

### 車外設置用リアカメラの場合 ※MDR-G009A2

ナンバープレート上部に両面テープで設置します。※ネジで固定することもできます。

#### ●取付例



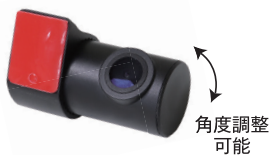
※ステーを付け替えることで  
車内設置にも対応します。



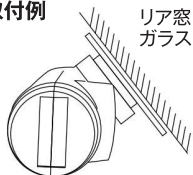
### 車内設置用リアカメラの場合 ※MDR-G009B2

リア窓ガラス内側に両面テープで貼り付けます。

※車内設置用リアカメラは防水対応ではありません。  
窓ガラスの内側に貼り付けてください。



#### ●取付例



## 取付時のご注意

1. 運転操作や車の可動部に干渉しないように取り付けてください。
2. ネジやシートレールなどの可動部にケーブルを挟み込まないようにしてください。  
車体に穴をあける時は、パイプ、タンク、電気配線を傷つけないように注意してください。
3. 両面テープを使用して固定する時はアルコールクリーナー等で取付面に付着している油分などを取り除いてください。
4. 取付面の温度が低い時は、接着力を上げるためドライヤー等で暖めてから作業を行ってください。
5. 両面テープは貼り直しをしないでください。極度に接着力が低下します。
6. 先に仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから取り付けを行ってください。
7. 取付後24時間以内はカメラに無理な力をかけないでください。
8. 本製品を分解、改造しないでください。保証対象外になります。
9. 本製品を動作するには定格DC12/24Vの電圧が必要です。定格外電圧では動作しません。複数のモニターや電化製品を多数取り付ける場合は電圧降下する可能性があります。その際は安定した電源の対策を施してから取付してください。
10. 接続した線は必ず絶縁をしてください。ボディーと接触するとショートします。
11. リアカメラを取付ける位置は「道路運送車両の保安基準第18条」に適合させる必要がありますので、ご注意ください。
12. 付属のシガーアダプターは車のシガーソケットに直接接続してください。シガーソケットを分岐させたアダプターには接続しないでください。火災や故障、誤作動の原因になることがあります。
13. シガーアダプターを取り付けた状態でエンジンをかけた場合、保証電圧範囲(12/24V)を超えたり電圧変動が起きる可能性があり、シガーアダプターや本体故障の原因になることがあります。

※仕様変更などにより本書の内容と本機が一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

※本書の著作権は昌騰有限会社に帰属します。無断複製、引用は固く禁じます。